

平成 25 年 1 月 11 日における当会の活動状況を報告致します。

1. 北沢林道周辺の調査

6 月 30 日に北沢林道と唐櫃石近辺の調査と保全整備活動を行なった。調査は朝 7 時半から正午に及んだ。参加者は、中川原隆一、熊谷正男、蒔野賢之輔、佐藤辰美、川越誠一、中村和義であった。調査範囲はカントリーパークから北沢林道の中ノ目川に沿って上り、右手の支流を更に遡り黒い崖がある所までとした。林道の下草や藪を刈り、落木を撤去し人が歩けるようにした。また、周囲の植生を観察し、ランドマークとなる樹木などを記録した。多くの参加者は、お土産にミズを採取した。山が豊かであることを示している。

2. 寺田牧野の調査

8 月 4 日には寺田牧野の調査を行なった。朝 7 時半から開始し終了は午後 12 時半になった。参加者は、山田清繁、佐藤清美、熊谷正男、蒔野賢之輔、佐藤辰美、中川原隆一、熊谷章であった。寺田牧野は前回の北沢林道周辺と比べれば高地に位置しているため、眺望が優れている。中ノ目川支流を渡ると眼下に仙北平野一面を見渡すことができる。山頂の方に進み調査を始めた。二年前に間伐が行われているが、間伐した木は放置され山は荒れている。しかし、眺望の良さ、溪流の美しさが多い水量、山菜の豊富さ、などから考えて寺田牧野は里山としては敵地であることが分かった。遊歩道、超望台、自然水飲み場、などの設置案が皆から続々と提案された。調査範囲は、寺田牧野の始点から昔萱取りをしたという山裾までとした。山は手入れが行き届いていなくて、雑草が腰まで生い茂っていて踏査に難儀した。ここでも、皆ミズをお土産として持ち帰った。

3. 調査内容

いずれの調査も道、川、森林の状態を調査し、スケッチブックに記入し、今後どのように保全計画を立てれば良いかを考えるための情報を入手することが目的である。第一段階の活動としては参加者が少なかったものの目的を達成したと考えている。何より、従来振り返られることがなかった山林に興味を抱き、皆で協力して足を踏み入れ調査し体験したことに大きな意味があったと感じている。今後継続的に実践することが課題だと認識した。

4. 事前準備

秋田県から森林基本図と森林計画図をコンピュータで使用できる形態で購入し、北沢林道周辺と寺田牧野の調査に使用できるようにした。また、必要に応じて詳細なデータを参照し今後の森林保全計画の作成にりようできるようにした。最初は県から入手したデータを Cadcorp の Map Reader で見るができず、森林整備課森林資源計画班の畠山恵さんにお世話になった。数回のやり取りの結果、対象地域の地図をみれるようになった。その後大いに活用している。



カントリーパーク上流下



唐櫃石周辺



北沢林道上流（右分岐後）



北沢林道最上流



今日のまとめ



北沢林道保全作業

以上